

地元の女性史を探る

西東京に研究会誕生



研究テーマについて話し合う西東京市女性史研究会の会員たち—西東京市南町5丁目の市役所

西東京市に地元の女性史を研究する会が誕生した。市内の女性22人を取り上げ、2010年12月に発行された「西東京市の女性の聞き書き集」に携わって

た人たちが中心になって結成した。3年後をめどに、聞き書きや研究をまとめた本を発行する予定だ。会は「西東京市女性史研究会」(木下伸子代表)。木

下代表をはじめ聞き書き集を作った「西東京市の女性史を編さんする会」の会員のうち7人が参加。「服飾面から見た女性の変化に興味がある」という最年少の高橋奈津美さん(37)ら新しい仲間2人も加わった。文化や環境保護など、様々な活動に携わってきた市内の75歳以上の女性に話を聞き、歴史の表舞台に登場することの少なかった人々の暮らしを記録し、語り継ぐのが目的。現在は月に2

回集まって、研究テーマや取材の進行状況などについて話し合っている。木下代表は「地域に目を向けて、この街の歴史を女性の視点から見直したい。聞き書きだけでなく、家族制度などテーマを決めた研究をまとめて、昨年発行した本を超える内容にした」と話している。

11日午後2時からイングリル(南町5丁目)第1会議室で、女性史研究者で聞き書き集を監修した石崎昇子さんの講演会「女性史の宝庫・西東京市を研究する意味と楽しさ」を開く。

男女問わず会員を募集中。市外からの参加も可。問い合わせは生活企画ジェフリー(042・467・2089)へ。

(菅野みゆき)